

京都桂看護専門学校創立 50 周年記念企画

なかむらてつ

中村哲氏講演

「アフガンの大地から観る明日の世界と日本」

2015年8月8日(土) 14:40~17:00

京都ブライトンホテル 地下1階 英の間

＊最初に現地活動のDVDを約20分間上映します。

中村哲先生のご紹介：PMS（ピースジャパン・メディカル・サービス）総院長及びペシャワール会現地代表。福岡県生まれ。九州大学医学部卒業。国内の病院勤務を経て、1984年にパキスタン北西のペシャワールに赴任し、ハンセン病をはじめ貧困層の診療に携わる。その後、アフガニスタン国内へ活動を広げ、干ばつの厳しい同国で、飲料水・灌漑用井戸事業や大がかりな水利事業に携わる。「医者、用水路を拓く」（石風社）ほか著書多数。「天、共に有り アフガニスタン三十年の闘い」（NHK出版）で第1回城山三郎賞を受賞。ペシャワール会現地代表。専門；神経内科。現地では内科・外科もこなす。年間診療数約55,000人。（2013年）



ペシャワール会のご紹介：1983年9月中村医師のパキスタンでの医療活動を支援する目的で結成された国際NGO(NPO)団体。1998年、恒久的な基地病院としてPMS=ペシャワール会医療サービス病院を建設。2000年アフガニスタンの干ばつに水源確保事業を開始、2001年「アフガンののちの基金」を設立し、空爆下、アフガニスタン国内避難民への緊急食糧配給を実施し、2002年2月までに15万人に配給した。2010年、アフガニスタン東部で灌漑用水路建設（全長約25km）を完遂した。現在は水利事業を含めた総合的農村復興事業「緑の大地計画」を進めている。